

古墳館の体験教室

熊本県立装飾古墳館

熊本県立装飾古墳館では、来館者や利用者の生涯学習の場として、また、参加体験しながら学ぶことができる博物館として、毎年様々な体験教室を実施しています。当館では、各体験教室を古代体験「学習」の一つの「手段」としてとらえています。すなわち、体験すること自体を目的とするのではなく、体験を通して歴史に対して興味を持ってもらい、かつ学んでもらうことを目的としています。そのために、各体験を行う際に、活動内容の説明だけでなく、必ず歴史に関する話をしています。（当館の展示内容や映画、隣接する岩原古墳群等との関連も考慮した内容にしています）

今回はその中から、特に人気がある2つの体験教室について御紹介します。

1 古代勾玉づくり

- (1) 内 容 「滑石」という古墳時代にも用いられていた石材を削って、古代の装身具である「勾玉」を作る活動です。
- (2) 材 料 代 200円／個（滑石1個、紙ヤスリ4枚、紐1本等）
- (3) 所要時間 2時間
- (4) 活動場所 （原則として）屋外
※ 活動の際に石の粉が出るため

(5) 活動内容

- ① 講話「古代の装身具について」
- ② 紙ヤスリ1で石材の周囲を削り、成形する。
- ③ " 2で勾玉の表面を削り、傷をとる。
- ④ " 3で勾玉の表面を磨き、表面を滑らかにする。
- ⑤ " 4で " "、つやを出す。

※④・⑤は石材を水につけながら作業する。

(6) 学習できる内容など

- ・ 古墳時代の装身具について学ぶことができる。
- ・ 実際に使われていたものと同じ種類の石材を使うので、当時の人々の気持ちや苦勞を想像することができる。
- ・ 滑石は非常にやわらかい石で、加工が容易であることから、小学校低学年の児童でも思い通りの形を作ることができる。
- ・ 4種類の紙ヤスリを使うことで、美しく滑らかな勾玉を作ることができる。



2 古代火おこし

- (1) 内 容 「マイギリ」という道具を使って4人以上（原則）で協力しながら火を起こす活動です。
- (2) 材 料 代 100円/セット（マイギリ他火おこし道具一式）
- (3) 所要時間 1時間
- (4) 活動場所 屋外
- (5) 活動内容

- ① 講話「火おこしの歴史について」
- ② 「マイギリ」と「火切り板」を使い、摩擦熱で火種を作る。
- ③ 火種の横に「艾（モグサ）」を一つまみ置き、優しく息を吹きかけて種火を移し、火種を安定させる。
- ④ 火のついた艾に「オガクズ」をひとつかみ加え、息を吹きかけて火種を移し、燃え上がらせる。



- (6) 学習できる内容など

- ・ 火おこしの歴史について学ぶことができる。
- ・ 火を起こすのは容易ではないが、その分成功したときは大きな達成感を感じることができる。併せて火を得るために、先人がどれほど苦労したか体感することができる。
- ・ マイギリを動かす役目、火きり板を固定する役目など、一人一人が自分の役目をきちんと果たさないと火が付きにくいいため、協力することの大切さを学ぶことができる。



○ 体験教室の実施にあたって

- (1) いずれのメニューも、事前の予約が必要です。
※ 「古代勾玉づくり」を個人で体験される場合のみ予約は必要ありません。
- (2) いずれのメニューも、館内だけでなく、「移動体験教室」として館外（県内及び周辺地域）でも実施することが可能です。
※ 移動体験教室の場合、別途指導者の出張先までの旅費がかかります。
- (3) 「古代火おこし」は館内で実施する場合は25セット、移動体験教室の場合は15セットが使用可能数の上限となります。
- (4) 当日の予約状況等によりお受けできない場合もありますので、実施を検討されている方はまずは御相談ください。

御連絡先 熊本県立装飾古墳館（山鹿市鹿央町岩原3085番地）

TEL：0968-36-2151

HP：<http://www.kofunkan.pref.kumamoto.jp/>